

市内 159 及び 160、161 例目（県内 222 及び 223、224 例目）の概要

令和 3 年 1 月 9 日（土）公表

1 月 8 日に実施した新型コロナウイルス感染症の検査の結果、新たに 3 名の方、市内 159 及び 160、161 例目（県内 222 及び 223、224 例目）となる感染者が確認されました。

159 例目の方は、松江市在住です。年齢・性別につきましては、本人のご意向により公表を差し控えさせていただきます。

1 月 31 日に 38 度台の発熱や咳の症状があり、1 月 7 日に市内の医療機関を受診。昨日 8 日に PCR 検査を行った結果、陽性であることが判明いたしました。

現在は、37 度台の発熱や鼻水の症状があるとのこと。

発症日 2 日前以降の感染可能期間に出勤されていましたが、不特定多数の方への接客の機会があるような仕事ではなく、勤務先での濃厚接触者は把握できています。

発症日 2 週間前以降の期間において、県外への移動歴はありませんでしたが、県外から来県された 160 例目の方との接触がありました。

次に、160 例目の方は、県外在住です。年齢・性別につきましては、本人のご意向により公表を差し控えさせていただきます。

160 例目の方は、松江市滞在中であり、159 例目の濃厚接触者として、昨日 8 日に PCR 検査を行った結果、陽性であることが判明いたしました。

現在、特に症状はありません。

発症日 2 日前以降の感染可能期間において、不特定多数の方への感染の恐れがあるような行動歴はありませんでした。

発症日 2 週間前以降の期間において、県外から来県し、市内滞在中に 159 例目との接触が確認されています。

最後に、161 例目の方は、松江市在住、20 歳代の男性です。

1 月 7 日に、本人から松江保健所に寄せられた、県外感染者の濃厚接触者であるとの相談などから、昨日 8 日に PCR 検査を行った結果、陽性であることが判明いたしました。

現在は、37 度台の発熱や鼻水、頭痛の症状があるとのこと。

発症日 2 日前以降の感染可能期間に出勤されていましたが、不特定多数の方への接客の機会があるような仕事ではなく、勤務先などの濃厚接触者の把握を進めています。

発症日 2 週間前以降の期間においては、県外への移動歴があったと伺っております。

3人の方々は、保健所の指導の下に自宅などで待機し、本日1月9日、感染症対策を講じた医療機関に入院いたしました。

今後も調査結果を踏まえ、必要に応じて幅広の検査を実施するなど、引き続き感染拡大の防止を図ってまいります。

大阪、京都、兵庫の関西3府県などでも緊急事態宣言要請の動きがみられる中、昨日の松江市対策本部会議では、感染が地方都市にも広がりやすい状況になっており、クラスターも多様化するなど、感染の様相がこれまでとは異なってきているとした上で、感染しない、させないために、一人一人が自分のとる行動を慎重に判断するようお願いをさせていただいたところです。

市民の皆様には、大切な家族や友人を守るためにも、「三密の回避」や会食を含めた感染リスクの高まる場面に十分注意いただくとともに、感染防止の基本である「フィジカルディスタンスの確保」「手洗いの励行」「マスクの着用」を徹底いただきますよう改めてお願い申し上げます。

なお、新型コロナウイルス感染症は誰でも感染する可能性があります。患者やその関係者また医療関係者を励まし、応援する思いやりの心を持っていただきますよう、重ねてお願いを申し上げます。